

ご挨拶

～代表理事 阿部義通～

JVECのコンセプトは菜園と果樹、芝生などが融合した「屋上菜園ガーデン」。
栽培方法は有機栽培を基本にしている。昨年9月に設立後、御茶ノ水の三井住友海上火災保険㈱の屋上菜園での栽培指導とルミネ北千住店の屋上菜園での栽培活動をしていく中で見てきたことは「屋上菜園ガーデン」にはいくつかの可能性がある、ということだ。
それをキーワード的に挙げると、以下のようになる。一つ一つ大切に磨いていきたい。

- ①都会の中で、生物多様性が土の中でも土の上でも実現できる、エコロジー性。
- ②子供も大人も、健常者も障害を持った人も野菜に触れることができるユニバーサル性。
- ③昔井戸端、今「菜園端」。日常的な人の集まり、つながりからコミュニティが生まれる。
- ④野菜の多品種少量栽培、果樹、芝生、灌木、花でナチュラルデザイン。自然の美実現。
- ⑤食についての実物体験・実物教育の場。特に子供たち。
- ⑥身体感覚を取り戻す場。自然に触れる機会の少ない都会生活者にメンタルヘルス効果一言で表現すれば、美しく、楽しく、豊かさを感じることできる「屋上菜園ガーデン」。

JVECのもう一つのコンセプトは「地方の内発的・主体的発展の支援」。こちらは次号で。

6月の活動報告

1. 北千住ルミネ屋上菜園 ジャガイモの収穫 (6月23日)

保育園の子供たちと一緒にジャガイモ掘り。
大中小と沢山収穫できました。



2. 三井住友海上火災保険㈱の屋上菜園 《菜園利用者の声》

「段々面白くなってきました」
「自分で育てた野菜は格別です」
「野菜のお世話って時間がかかるんですね」
「スイカの花が咲きました！」
屋上菜園にはご夫妻で、また家族で来ている方が多くいます。職場の仲間と、地元の友人たちと来ている方たちもいます。
どこか雑然とした集まりですが、それがいいのかもしれません。



3. エゴマ栽培/JVEC地方支援プロジェクト。市民によるエゴマ栽培。

武蔵野農園のエゴマ畑

(埼玉県朝霞市)

御殿場農園のエゴマ畑

(静岡県御殿場市)

元気に生長しています

* 6月30日伊藤、阿部両氏が定植



7月の予定

- ①島根県川本町 エゴマプロジェクトの件でエゴマ チーム出張
- ②屋上菜園見学会企画(三井住友海上火災保険㈱の屋上菜園、ルミネ北千住店の屋上菜園)
- ③ルミネ北千住店 野菜収穫イベント企画・実施

JVEC関連ニュース

①JVEC監事の中島さんが新しい団体を立ち上げます。

「なぜ今、オーガニックフラワーなのか!?!」

花卉の栽培に化学農薬、化学肥料が使われていることをご存じでしょうか。実は花卉に使用されている化学農薬のためにアレルギーや健康問題が起きています。そこで化学農薬を使わないで栽培された花卉、オーガニックフラワーが一部の消費者、お花屋さん、さらに医療機関から求められるようになりました。オーガニックフラワーであれば、化学物質に敏感な方々も安心して花を愛でることができます。

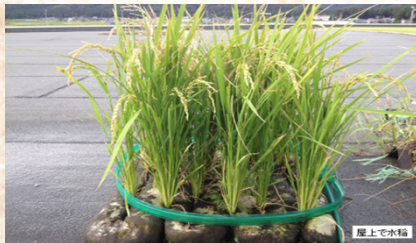
またオーガニックフラワーには長持ちする、花色の発色が良く、香りが引き立つという特長があります。オーガニックフラワーであれば今迄以上に花とともにある生活が楽しめます。

日本オーガニックフラワー協会はオーガニックフラワーの栽培法の研究・開発とともに消費者へオーガニックフラワーを普及する活動に取り組んでいます。

(日本オーガニックフラワー協会 副理事長 中島 まこと)

②ロールプランターで野菜栽培・ここまでできる こんなことまでできる

(屋上で水稲栽培)



(ほうれん草、ネリカ(陸稲)、トウモロコシ)



ロールプランター(例えてみれば土のソーセージ)とドリップ灌水方式を使用した野菜栽培例です。ロールプランターは(株)ミツカワ製。ポリエステル製の筒状のロールプランターに無機質あるいは有機質の植生基盤材を詰めて、苗の定植をします。今後、ディスプレイ用、イベント用にロールプランターで野菜の「どこでも栽培」の展開をメーカーのミツカワ様と一緒に図っていきたいと考えています。

リレーエッセイ

～田圃は楽し～



「雨が降りませんように・・・」

こんなに天気が気になるのは1年に数回。その中でも田植えの日と稲刈りの日は格別です。

静岡県駿東郡小山町の米作り農家さんから、一反少々のお借りして4年目になりました。今年は富士山が見える田圃です。

5月の中旬、40人ほどで田圃に入り横1列に並び、芽吹いて青々としてきた稲の苗を、泥の中に植えていきます。子供たちは泥だらけ、でも大丈夫。お父さんもお母さんも泥仲間ですからね。

田植えから2週間後、富士山を逆さまに映す田圃の中で、稲はしっかり根付いていました。その中でいつの間に孵ったのかオタマジャクシが群れていて、ミジンコも大発生。そして水面をずるずると進む60cmほどの蛇も登場。空中にはトンボも舞い、元気のいい田圃はにぎやかです。梅雨の恵みに太陽のエネルギーを吸収して、秋になり稲穂をもたげるといよいよ収穫。今年も餅つきでお祝いしよう！。



理事 伊藤純一

一般社団法人 ジャパンベジタブルコミュニティ
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-10-8
TEL:080-5473-9028 FAX:03-6672-5654